



じゃあすき あけぼの



福山市立曙小学校 校長だより 2026年(令和8年)8月7日

語り継ぎたいものがある



広島に原爆が投下された月日を「8月6日」と正確に答えた広島市の小中高生の割合がいずれも9割を超え、過去最多となりました。

広島市の調査は、小学4年生から高校3年生までの児童生徒3,630人を抽出し、オンライン形式で実施しました。

「広島市に原子爆弾が投下された月日」について正しく答えたのは、▼小学生で91.6% ▼中学生で94.9% ▼高校生で95.7%で、いずれも過去最多となりました。

また、投下された年を「1945年」と正しく答えられた割合も、78.8%から91.6%で、小・中・高いずれも過去最高でした。

一方、原爆や戦争について祖父母から教わった割合は、いずれの世代も1割から2割程度にとどまっていた、2015年度に行われた前回調査からほぼ半減しました。

広島市教育委員会は、今回の調査結果を受けて「平和教育プログラムは一定の成果があった。今後は被爆体験者なども含め、証言にふれる機会を設ける必要がある」としています。

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rcc/2680073?display=1>



5/22(金) 配信記事

Let's make the world full of energy and smiles. ～「元気」と「笑顔」があふれる世界にしよう～



じゃあすき あけぼの



福山市立曙小学校 校長だより 2026年(令和8年)8月7日

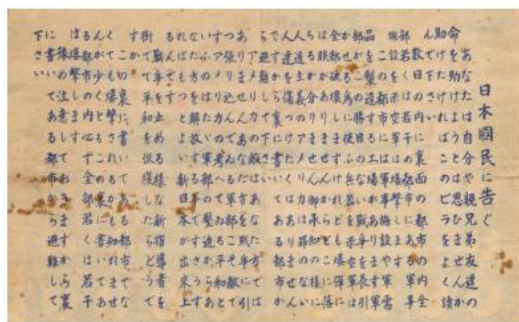
4 福山空襲

(1) 空襲

大好き！福山 ～ふるさと学習～ (副読本)
福山市教育委員会 HP より

アメリカ軍の本土空襲が全国に拡大される中、福山地区への空襲は1945年(昭和20年)3月19日から始まりました。最初は、大津野村にあった福山海軍航空隊が、空母艦載機によって繰り返し銃撃を受け、7月になると、市街地への空襲を予想して市中心部の建物疎開が始まりました。

7月31日の夜、アメリカ空軍が約6万枚の空襲予告の伝単(ピラ)を投下しました。



〔空襲予告の宣伝ピラ表・裏〕

福山市街地への空襲は、1945年(昭和20年)8月8日、午後10時25分頃から、約1時間にわたって、B29爆撃機91機によって行われました。警戒警報発令の約10分後に空襲警報が発令されましたが、この時すでにB29の大編隊は福山市上空に達していました。B29から、最初に照明弾が、その後焼夷弾が次々に投下され、市の周辺部各所から一斉に火災が発生しました。B29は、高度4000mぐらいから次第に高度を下げながら市街地への波状攻撃を繰り返し、約556tもの焼夷弾を投下しました。

全市は、たちまち火の海と化して、福山市街地は壊滅的な被害を受けました。

種類	収束爆弾 (M17型)	油脂焼夷弾 (M47型)	合計
数量(発)	1666	4035	5701
重さ(t)	416.5	139.2	555.7

〔焼夷弾の数量〕

犠牲者数	355人
重軽傷者数	864人
焼失家屋数	10179戸
被災人口	47326人
市街地焼失面積	314ha 市街地の約80%

〔被害状況〕

ニュース、新聞記事等をもとにして、平和について話題にしてみましょう。

Let's make the world full of energy and smiles. ～「元気」と「笑顔」があふれる世界にしよう～